

都立蔵前工業高等学校令和2年度 教科 英語 科目 コミュニケーション英語Ⅰ 年間授業計画

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅰ 単位数：3単位

対象学年組：(第1学年機械科1組～設備工業科)

教科担当者：(M1組、A科、S科：鶴田・松本・Kit・Darwin) (M2組、E科：木田・松本・Kit・Darwin)

使用教科書：( Revised COMET English Communication I )

使用教材：( 改訂版 COMET English Communication I ベーシックノート、Welcome to Tokyo [Intermediate] )

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅰの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	イントロダクション Lesson 1 Why Do You Study English? 【現在形・過去形】 Lesson 2 Washoku: Our Traditional Food 【can, may, must】	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの順番および、ブロック体の大文字・小文字の区別できる。</li> <li>日常にあふれる和製英語を知り、その正しい英語の表現を学ぶ。</li> <li>基本的な文型(5文型)について理解できる。</li> <li>時制の概念を理解する。</li> <li>現在形・過去形を用いた英文を読み、その違いを理解する。</li> <li>現在形・過去形を正しく活用できる。</li> <li>現在形・過去形の疑問文・否定文を正しく運用できる。</li> <li>助動詞の働きについて理解できる。</li> <li>can, may, mustを用いた文を読み、内容を理解する。</li> <li>助動詞を用いた文を正しく運用できる。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休業期間課題により評価	
5月	自己紹介 Lesson 1 Why Do You Study English? 【現在形・過去形】 Lesson 2 Washoku: Our Traditional Food 【can, may, must】 Topic 1 Ramen	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な自己紹介の表現を身につけている。</li> <li>基本的な文型(5文型)について理解する。</li> <li>時制の概念を理解する。</li> <li>現在形・過去形を用いた英文を読み、その違いを理解する。</li> <li>現在形・過去形を正しく活用できる。</li> <li>現在形・過去形の疑問文・否定文を正しく運用できる。</li> <li>日本の食文化について、簡単な英語でJET/ALTIに紹介することができる。</li> </ul>	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	10
6月	Lesson 3 What Should I Do? 【進行形】 Lesson 4 My School, Your School 【to不定詞】	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞の働きについて理解し、can, may, mustを用いた文の内容を理解する。</li> <li>助動詞を用いた文を正しく運用できる。</li> <li>現在形・過去形と進行形の動詞の形の違いに気づくことができる。</li> <li>進行形を用いた文の内容を理解する。</li> <li>動詞を活用させ、現在進行形・過去進行形の文を書くことができる。</li> <li>Why not～?の表現を活用し、困っている相手に対して、英語で助言できる。</li> <li>世界の学校と日本の学校の違いがあることを知る。</li> <li>to不定詞の様々な働きについて理解する。</li> <li>to不定詞を正しく運用できる。</li> <li>Can I～?などを用いて、相手に許可を求めることができる。</li> </ul>	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	14
7月	Lesson 1～4の復習	既習の文法項目について、その働きや活用を理解し、正しく運用できる。	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	5
8月	Reading 2 Hachiko	辞書などを適宜使用し、物語文の内容を理解する。		
9月	Reading 2 Hachiko Lesson 5 Peace, the Polar Bear 【動名詞】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハチ公についての物語文を読み、その内容についての日本語や英語による質問に答えることができる。</li> <li>内容について、日本語や英語を用いて自分の感想を書くことができる。</li> <li>動名詞の働きについて理解する。</li> <li>動名詞を用いた文の内容を理解することができる。</li> <li>動名詞の文を正しく作ることができる。</li> </ul>	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	12
10月	Lesson 6 Flying Wheelchairs 【現在完了】 Topic 2 Train and Subway Systems	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形の働きを理解し、現在形・過去形との違いを理解する。</li> <li>現在完了形の3つの用法を正しく運用できる。</li> <li>相手に経験を尋ねたり、自分の経験について答えたりすることができる。</li> <li>都内の電車や地下鉄のシステムについての英文による説明を理解することができる。</li> <li>乗り物を利用した都内の観光名所までの道案内を英語で述べる事ができる。</li> </ul>	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	10
11月	Lesson 7 Moving As One 【受動態】 Lesson 8 Convenience Stores: the Keys to Their Success 【現在分詞・過去分詞】	<ul style="list-style-type: none"> <li>能動態と受動態の違いについて理解する。</li> <li>受動態の動詞の形を理解する。</li> <li>受動態を用いた文の内容を理解できる。</li> <li>受動態を正しく運用できる。</li> <li>現在分詞、過去分詞を用いた修飾の働きを理解する。</li> <li>現在分詞、過去分詞を用いた文の内容を理解する。</li> <li>現在分詞、過去分詞を正しく運用できる。</li> <li>What's the matter?などの表現を用いて、相手を心配する気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	10
12月	Lesson 5～8の復習	既習の文法項目について、その働きや活用を理解し、正しく運用できる。	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	5
1月	Lesson 9 Malala Yousafzai: Education Can Change the World 【比較級・最上級】 Topic 3 Etiquette in Japan	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーベル平和賞を受賞したマララさんについての英文を読み、彼女の身に起こったことや彼女に考えを理解する。</li> <li>比較級、最上級の働きについて知る。</li> <li>比較級、最上級の活用形を理解する。</li> <li>比較級、最上級を正しく運用できる。</li> <li>日本の慣習やマナーについて簡単な英語でJET/ALTIに説明することができる。</li> </ul>	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	7
2月	Lesson 10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodle 【関係代名詞who, which, that】 Health Problem	<ul style="list-style-type: none"> <li>安藤百福についての文を読み、カップラーメンがどのように開発されたのかを理解する。</li> <li>関係代名詞who, which, thatの働きについて知る。</li> <li>関係代名詞who, which, thatの違いについて理解する。</li> <li>関係代名詞who, which, thatを用いた文を正しく書くことができる。</li> <li>体の不調を訴える表現を学ぶ。</li> <li>医者と患者のロールプレイを英語で行うことができる。</li> </ul>	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	12
3月	Lesson 9, 10の復習	既習の文法項目について、その働きや活用を理解し、正しく運用できる。	授業での取り組み状況、提出物、発表など言語活動、定期考査など、学力スタンダードに基づいて総合的に評価。	7